

2024 年 11 月 23 日

国士舘大学大学院グローバルアジア研究科

2025 年度入学試験問題

修士課程 専門科目（選択）

ビジネスコミュニケーション分野（ビジネス）

試験時間 60 分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないこと。
2. 解答は黒鉛筆を使用すること。
3. 机の上は、受験票、筆記用具、消しゴム、時計以外は置かないこと。
4. 問題用紙に受験番号を忘れずに記入すること。
5. 試験終了後、問題用紙、解答用紙共、回収します。

受験 番号	
----------	--

国士舘大学大学院 グローバルアジア研究科

2025 年度

修士課程入学試験問題 専門科目：ビジネスコミュニケーション分野

以下の問題のうち1つを選択し、別紙の解答用紙に問題番号を記入して解答を記述してください。

問題番号：2511021

会計は、“企業をめぐる利害関係を調整する”と言われます。それについて、会計が利害関係をどのように調整するのかを述べて下さい。

問題番号：2511022

G. ハメルと C. K. プラハラードは米国と日本を比較して米国がキャッシュ重視の SBU 経営を重視した選択と集中を実施しているために衰退に至ってしまったと述べた。一方、日本は米国とは異なり、コアコンピタンス経営に邁進したため、企業成長へと導けたと結論づけた。そこでコアコンピタンスとは何かを、事例を交えながら詳しく説明せよ。

問題番号：2511023

具体的な事例をひとつ取り上げ、マーケティングもしくは戦略の理論を使用して説明してください。